



ロバート 日 本 人 知 事 所 知 事 所 十月十六日 金 曜 日 印刷 行

### 南太平洋大海戦

「ワカナル中心立體戦」  
「日本艦隊更に南方進出」  
「数百哩距て武戦已極戦」

華府十五日 A.P. 報道によれば南太平洋戦況愈々その決戦期に入りソロモン群島の鍵であるワカナル基地へは日本軍數團に亘り上陸し米軍も亦強壯して要塞兵と陸軍隊とが協合作戦に空海及海で防衛を互に衝突戦を展開せらるゝと云ふのはコミニニクの発表中絶せるに及ぶるも明かであるが一方日本の艦隊はソロモン群島南敷百哩地点未曽海軍根據地ヒースライト島と砲撃中である ヒースライト群島はフィジー島根據地の西に位しワカナル島とニューカレドニア島との中間重要軍

用基地である。

### セコンドフロント?

アフリカ西岸(向ヶ) 聯合軍 総集し始む  
倫敦十五日 L.P. は 巴里刊行諸新聞の報道なりとして米國陸戦隊並に英國陸戦隊はガムビア並にセネーガル(アフリカ西海岸) 弗領カカール軍港を首府とせる(地帯)に密集し始めた 右に關し流説二様に分れ一は米國軍はカカール攻略の爲の大量艦隊にて航行中といふ一はセコンドフロントは此の方面なりといつて居るが確報を欠く

### 十月十六日の世界

(米) E.P. フォックス第二面には市俄古に於て陸軍爆撃機衝突十三名惨死、レントホテル銃制令通過、十八歳適齡案委員會通過等掲載  
(露) スターリングラード市に對してリスト將軍は攻勢を新として電報部に再三攻撃を來り米軍終に後退した。

(英) モルタ島來襲の独空軍を撃退九十六台を射落した

### 日本人村の秋祭

明生耀午五時半から第三大隊第九中隊演藝會場に於て日本人村の秋祭が西學生部聯合主催にて行はれ森田卓立氏の司會にて左の順序により嚴かに式が行はれ之が約一時間であつてから奉納餘興がある

- 一 被 式
- 二 神 嘗 祭 送 拜 式  
會衆一同
- 三 君 が 代 (三唱)  
神道聯合奉仕
- 四 秋 の 大 祭  
帝國軍人
- 五 奉 奉 献  
帝國軍人
- 六 愛 國 行 進 曲  
會衆一同

- 一 議 曲 (寶 生 流)
- 二 神 樂
- 三 獅子舞
- 四 歌舞伎 辨慶上使の段
- 五 浪 華 節
- 六 喜 劇 辰の家

### 聖公會聖餐式奉行

本日午前九時第三大隊社交室に於てウード牧師司式聖餐式があつた 聖公會信徒數多参列した 右はニューメキシコ州ラスクルス留地より九十哩)市聖アンドルース教會より次は十月第一日曜午前九時と決定したバルク大尉がウード牧師を導いて北川牧師と共に一同に紹介した。

### 中山忠氏感 謝

九月二十日當病院に於て死せし中山善四郎氏遺骸は十月五日ワカナル州ミカドリロケインキヤノ著墳墓となりて歸來せる最初参りたるとして大なる同情の下に合七日午後三時と營す水たる葬儀は非常盛大であつた田舎回息子中山忠氏より當所病院へ般諸君の厚情を感謝する旨第十中隊長三原氏まで申越したり。

### 佛教研究會

本晚七時第三大隊ホールに於てスミカ院重藤輪香の釋尊の成道に就てと題する講演あり 緑茶を頂きて一從捨て、ある石にも春雨のそ、く哉

# 水兵の手記



## 水兵の手記

### ソロモン海戦記

一水兵の手記 (ソロモン)

私には敵艦が両側からやつて来るやうに見え、其れから西方の鳴らう探海燈が我艦の横腹を射た。

我司令官は艦を照光から離ルヤせ照光は暫く大息する如くに消之射撃を指揮してわた水射イ、ケー、ウエーク、ファイルドは双眼鏡と矢つたので、寸探した後私のを貸せと言ひ其れで視て、アノ一人のゲヤツフは、モー、一丸も発射しな、だ、あ、う、と、いふ、其、言、下、に、又、一、丸、又、一、丸、と、續、いて、飛、ん、だ、來、た、砲、丸、は、實、に、何、處、へ、も、飛、ぶ、何、物、で、も、飛、ぶ、散、ら、し、た。

空中監視の者共は次々に倒れ、甲板に散らし、一將校は負傷者を救はんとて下り行きし、も、向、も、なく、昏、迷、せ、る、顔、付、し、て、返、へ、り、來、り、昏、ん、を、死、ん、で、お、た、といふ。

弾薬に火が移り之に射たる、ものが出たので、ウルース、アル、大尉は爆発し、な、為、に、之、を、海、に、投、げ、ん、と、し、て、過、つ、て、其、一、部、の、爆、発、か、ら、左、眼、に、負、傷、し、た、の、で、繃、帯、し、て、上、所、と、せ、る、に、大、尉、は、自、ら、繃、帯、し、た。

艦内で戦はれるまで、戦ひ監視台から甲板へ下り負傷者を運ぶ、其れから救命筏が漂つてゐるのを見付けて、之に乗り込んだ、湾内の船舶は折角海に飛び込んだ者も、艦に咬まれ、人ごとを慮り、機関銃で艦を退治してゐた。

筏で見ると前方から一隻の駆逐艦がやつて来る、日本の駆逐艦らしく、機関銃を我々に向せ、私、は、筏、の、者、共、に、代、を、見、棄、て、一、人、く、泳、ぐ、方、が、救、が、る、ヤ、ン、ス、が、多、い、と、言、つ、た、け、れ、ど、も、多、数、の、者、は、筏、に、居、る、方、が、安、全、と、思、つ、た、ら、し、い、筏、を、去、つ、た、者、は、私、の、外、に、二、人、の、み、で、あ、つ、た。

駆逐艦は米國の者であつた、艦の者がいふに、艦が負傷せる將校を助け、つ、あ、つ、た、か、ら、其、れ、で、艦、に、發、射、し、て、お、た、の、で、あ、る、と、

艦であつたか、何であつたか分らぬが、私は泳いでゐる時に、私の方へ二つの大きな白い筋が、やつて来るのを見、た、か、ら、一、生、懸、命、に、

泳いで又筏へ、返つて来た、私の外に泳いでゐた二人の運命は如何であつたか知らぬ。(完)



### 英語だより (42)

(1) 公開講演が毎晩ある (2) 講演者の名は、インターネットといふわけ、この規則で云へないのは残念だ (3) だが、演題は左記の通りだから、聞いたら面白からう、講演は、通俗講演と、通譯講演、演者、講師は、斯道の専門家、學者、

「アラスカの過去と現在」  
「ハワイと日本人」 鎌石、  
就いて、等

(1) Public lectures are now being given every evening. (2) Regret we could not tell you the names of lecturers who are interneers by the regulations here. (3) However, you'd be interested to know the subjects on which the following popular as well as serial lectures are being delivered by specialists and scholars:-

"Colonization of Insects," "Japanese Grammar," "Alaska: Past and Present," "Hawaii and the Japanese," "On Minerals," etc.

### 中二大隊の人名録

#### 第六中隊 第四寮

- 福岡縣 辻 虎藏
- 廣島縣 堀田喜代次 飛輝專精
- 今田辰市 河野銀六
- 吉賀忠雄
- 高知縣 山本藤太郎
- 熊本縣 平江 慧 桑原常松
- 武本惣四郎
- 佐賀縣 重藤丹亮
- 島根縣 三明永無
- 東京市 相賀安太郎
- 鳥取縣 堀田益次郎
- 富山縣 小坂誓典
- 和歌山縣 石川吉平
- 山口縣 磯村高助 中村萬植
- 須子勝平
- 鹿児島縣 大山春志
- 福井縣 織田鹿藏
- 静岡縣 影山哲三
- 沖繩縣 仲村渠幸輝